PDF 版

消費者へのアドバイス

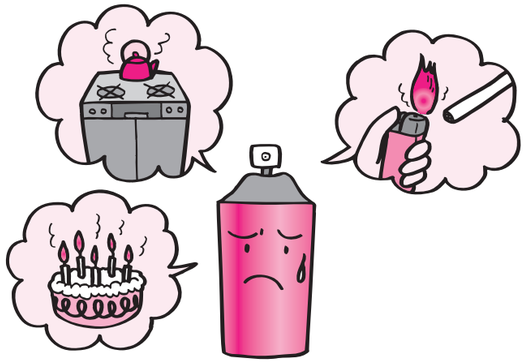
❶使用・保管時の注意

人体に噴射して使用するスプレーは、商品の表示どおりの使用方法で使用しましょう

表示よりも近距離から噴射したり、横に倒しての噴射などをしたところ、噴射剤が液体のまま噴射されて凍傷になる危険性があることが分かりました。思わぬ事故に繋がる危険性がありますので、適切な使用方法で使用しましょう。

スプレー噴射直後には火気を近づけないこと！

スプレー缶の内容物には可燃物が充填されているため、特に噴射直後には火種となるようなものを近づけないことが大切です。また、噴射物が届かないと思っても、思わぬ所で引火を起こす危険性がありますので気をつけましょう。



自動車内や直射日光の当たる場所、加熱源の近くには放置しないこと

直射日光の当たる場所や高温の場所にスプレー缶を置くと破裂や爆発の危険性があるので避けましょう。

❷廃棄時の注意

噴射剤も含め中身を使い切ること。その上で、各自治体の廃棄方法をよく確認すること

スプレー缶に内容物が残った状態で、缶に穴を開けてガス抜きをすると、周囲の火種により引火・爆発します。また、室内でスプレーを大量噴射すると、火種により引火・爆発の危険性もあります。

そのため、下記の点に注意しましょう。

- **使い終わったスプレー缶製品は、内容物を全てガス抜きすること**
- **噴霧用ボタンを押した時に噴射音が鳴るもののガス抜きなどをする際は、風通しが良い火気のない屋外などの場所で、繰り返し噴霧用ボタンを押しても噴射音が聞こえなくなるまで、完全に中身を出し切ること**
- **廃棄方法は自治体によって異なるので、廃棄の際には各自治体に確認すること**

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページの「報道発表資料」コーナーに掲載しています。
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20061108_1.html

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、協力病院等から収集した情報をもとに、
被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
無断転載はお断りいたします。

独立行政法人
国民生活センター
〒 108-8602 東京都港区高輪 3-13-22　TEL.03（3443）1793
● 2007 年 1 月発行

デザイン＝花村デザイン事務所
イラスト＝ヒラヤマ ミワ

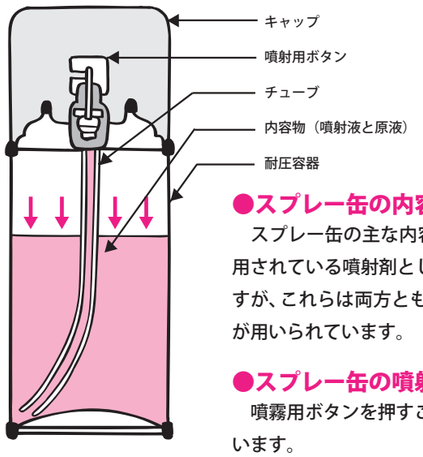
くらしの危険 Number 276

スプレー缶製品の使用上の安全性

塗料、殺虫剤、ヘアスプレー、制汗消臭剤など、スプレー缶製品（エアゾール製品）は日常生活のさまざまなところで使われてます。

国民生活センター危害情報部システムには、「筋肉用スプレーをサポーターの上から噴射し、暫くしてタバコを吸ったところ、サポーターに火が付いた」「自動車内に置いてあった塗料スプレー缶が破裂した」など、従来からその危険性が指摘されている事例や、「制汗消臭剤を手の両甲にうけ、皮膚が紫色になった」など、これまであまり知られていない凍傷に関する事例も寄せられています。

スプレー缶の構造について



スプレー缶の構造（（社）日本エアゾール協会ホームページの図をもとに作成）

●スプレー缶の内容物（噴射剤）

スプレー缶の主な内容物は、目的成分とそれを溶かすための溶剤、そして噴射剤などです。現在使用されている噴射剤として代表的なものは LP ガス（LPG、液化石油ガス）、DME（ジメチルエーテル）ですが、これらは両方ともフロンガスと違い可燃性です。この他、一部に不燃性の炭酸ガスや窒素ガスが用いられています。

●スプレー缶の噴射のメカニズム

噴霧用ボタンを押すことにより、スプレー缶内に充填されている内容物が噴射される構造となっています。

PDF 版

こんな事故が起きています

人体に噴射して使用するスプレーによる事故

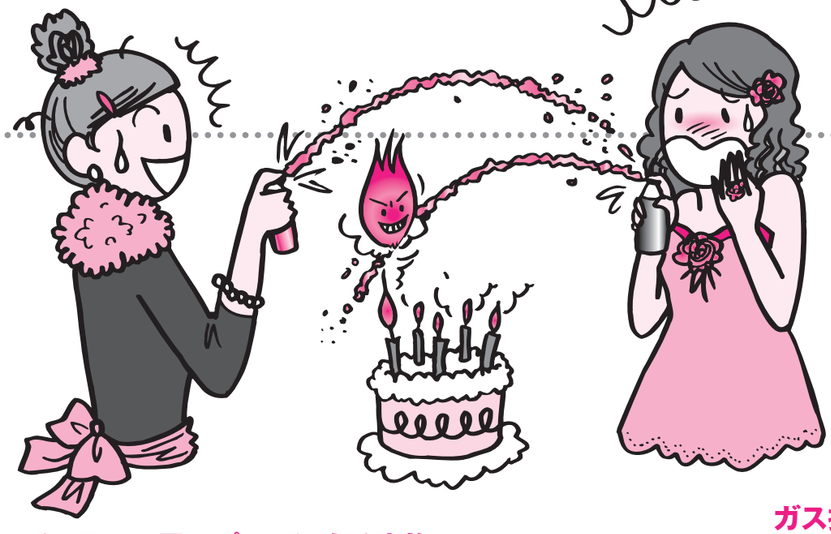
ケース 1 ソフトボールをしている。筋肉痛を和らげ、
その効果を長時間持続させようと思い、
タオル地の伸縮性の手首用サポーターの上から
筋肉用スプレーを噴射した。
しばらくしてタバコを吸ったところ、
サポーターにポッと火がついた。サポーターはすぐ外し、
やけどはしなかった。取扱説明書は破棄した。
スプレー缶には火気厳禁と書かれている。
（30 歳代、男性）

自動車内での破裂や爆発

ケース 2 車の中に木工塗料のスプレー缶 2 本を
置いていたところ、1 本が破裂した。
フロントガラスが破損し、塗料が室内に飛散した。
車はすぐに修理に出した。けがはしていない。
（20 歳代、女性）

凍傷や凍結による事故

ケース 3 小学生の娘が制汗消臭剤を
手の両甲に受け、皮膚が紫色になり、
病院へ行ったところ、
凍傷と言われた。跡が残るらしい。
（10 歳代、女性）



パーティー用スプレーによる事故

ケース 4 パーティーグッズのスプレー缶をかけあっていたところ、
ケーキのろうそくの火に引火してやけどした。
（30 歳代、女性）

ガス抜き時の事故

ケース 5 防水スプレーの缶の中の
ガスを抜いているときに、
近くの火に引火し、
火柱により顔面をやけどした。
（50 歳代、女性）

廃棄時の事故

ケース 6 虫除けスプレー缶を使い切ったことを
確認のうえ、家中の窓を開け、火の気のない、窓から 1 メートルほど離れた場所で
缶切りを使って 1 箇所穴を開けたところ、火が出て、顔、両腕をやけどし、髪も焼けた。
5 日たった今でも顔中包帯で、車の運転もできず、仕事にもいけない。
穴を開けることは自治体で決まっている。
（20 歳代、女性）

けがの内容、部位

けがの内容は「熱傷」（やけど）が最も多くなっています。この他、スプレー液が目に入るなどの「異物の侵入」や、スプレーによる皮膚の発疹・かぶれなどの「皮膚障害」なども見受けられます。

けがをした部位は、肩から手指までの部位が最も多く、次いで、顔面、頭部の順となっています。

スプレー缶の事故事例の再現テストを行い、事故に至るメカニズムを検証しました

●このテストの詳細は、(独) 国民生活センターホームページ報道発表資料「スプレー缶製品の使用上の安全性」でみることができます。また、「たしかな目」2006 年 12 月号では、わかりやすくこのテスト結果を紹介しています。

◉人体に噴射して使用するコールドスプレー等は、使い方によっては凍傷の危険性が高くなることが分かりました

◉スプレー噴射直後に火種が近づくと、内容物の可燃性や噴射量など様々な要因により引火することがありました

◉パーティー用のスプレーは、内容物の種類などによって、噴射物に引火するものがありました

◉スプレー缶の内容物の重量が大きいものは、高温環境下で破裂しやすいことが分かりました